

# 経 済 日 誌

(11 月 中)

- 1日 ○自販連、10月の国内新車販売台数を発表  
国内新車販売台数（含む軽）は、37万2,470台で前年比△1.7%と12か月ぶりのマイナス  
国内新車販売台数（除く軽）は、23万1,563台で前年比△4.7%と3か月ぶりのマイナス  
○FRB（米連邦準備制度理事会）、FOMC（米連邦公開市場委員会）を開催（10/31日～）  
・政策金利（フェデラルファンドレート）の誘導目標レンジを据置き（1.00～1.25%）  
○米供給管理協会、10月のISM景況指数（製造業）を発表  
総合指数は58.7ポイントと前月（60.8ポイント）から減速
- 2日 ○イングランド銀行（BOE）、金融政策委員会を開催し、以下を決定  
・政策金利を0.25%引上げ（現行0.25%→0.50%）  
・資産買入れプログラムの規模を維持（総額4,450億ポンド）
- 3日 ○米労働省、10月の雇用統計を発表  
非農業部門の雇用者数は前月比26.1万人増、過去2か月分は上方修正（9月分は1.8万人増（+5.1万人）、8月分は20.8万人増（+3.9万人））  
失業率は4.1%と前月（4.2%）から低下
- 7日 ○厚生労働省、9月の毎月勤労統計（速報）を発表  
現金給与総額は前年比+0.9%で2か月連続の増加（うち所定内給与は同+0.7%、うち所定外給与は同+0.9%、うち特別給与は同+11.6%）
- 8日 ○内閣府、9月の景気動向指数（CI）（速報）を発表  
先行指数は106.6（前月差△0.6ポイント）で2か月ぶりの低下、一致指数は115.8（前月差△1.9ポイント）で2か月ぶりの低下、運行指数は116.8（前月差+0.6ポイント）で2か月連続の上昇  
基調判断（CI一致指数）は「改善を示している」とし前月から据置き  
○中国海関総署、10月の貿易収支を発表  
貿易収支は382億ドルと8か月連続の黒字、輸出は1,890億ドルで前年比+6.9%と8か月連続のプラス、輸入は1,508億ドルで前年比+17.2%と12か月連続のプラス
- 9日 ○内閣府、9月の機械受注統計を発表  
民需（除く船舶・電力）は季調済前月比△8.1%と3か月ぶりの減少  
基調判断は「持ち直しの動きがみられる」とし、前月から据置き  
○財務省、9月の国際収支状況（速報）を発表  
経常収支は2兆2,712億円、前年比+4,069億円（黒字幅拡大）で39か月連続の黒字  
○東京商工リサーチ、10月の全国企業倒産状況を発表  
倒産件数は733件（前年比+7.3%）と2か月連続で前年比プラス、負債総額は959億円（同△13.8%）、倒産企業の従業員数は3,628人（同+5.3%）、上場企業倒産は0件
- 内閣府、10月の景気ウォッチャー調査を発表  
景気の現状判断DIは前月差+0.9ポイントの52.2と2か月連続の上昇、先行き判断DIは前月差+3.9ポイントの54.9と2か月ぶりの上昇  
基調判断は「着実に持ち直している。先行きについては、人手不足や海外情勢に対する懸念もある一方、引き続き受注、設備投資等への期待がみられる」とし、前月から据置き
- 中国国家統計局、10月の消費者物価上昇率を発表  
総合指数は前年比+1.9%で前月（同+1.6%）から伸びが拡大
- 10日 ○日本銀行、10月のマネーストック（速報）を発表  
M2は前年比+4.1%、M3は同+3.5%、広義流動性は同+4.0%
- 13日 ○日本銀行、10月の企業物価指数（速報）を発表  
前年比+3.4%となり、10か月連続のプラス
- 14日 ○独統計庁、2017年7-9月期GDP（速報）を発表  
実質GDP成長率は季調済前期比+0.8%、年率+3.3%  
○EU統計局、ユーロ圏の2017年7-9月期GDP（2次速報）を発表  
実質GDP成長率は前期比+0.6%、年率+2.5%（1次速報は、それぞれ+0.6%、+2.4%）
- 15日 ○内閣府、2017年7-9月期のGDP（1次速報）を発表  
実質GDP成長率は季調済前期比+0.3%（年率+1.4%）となり7四半期連続のプラス成長、名目GDPは同+0.6%（年率+2.5%）となり、2四半期連続のプラス成長、GDPデフレーターは前年比+0.1%と5四半期ぶりのプラス  
○米労働省、10月の消費者物価指数を発表  
総合指数は前年比+2.0%、前月比+0.1%、食品とエネルギーを除いたコア指数は前年比+1.8%、前月比+0.2%  
○米商務省、10月の小売売上高を発表  
総合は季調済前月比+0.2%、9月分は上方修正（前月比+1.6%→同+1.9%）  
変動の大きい自動車・同部品を除くベースでは前月比+0.1%
- 16日 ○平成29年第15回経済財政諮問会議、第32回総合科学技術・イノベーション会議を開催  
「金融政策、物価等に関する集中審議」、「生産性革命」に資する科学技術・イノベーション、「経済・財政一体改革（各論②（地方財政①、社会資本整備））」について議論  
○米FRB、10月の鉱工業生産を発表  
総合は季調済前月比+0.9%で前月から上昇、過去2か月分は上方修正（9月分は前月比+0.3%→+0.4%、8月分は前月比△0.7%→△0.5%）
- 17日 ○米商務省、10月の住宅着工件数を発表  
前月比+13.7%の季調済年率129.0万件

# 経 済 日 誌 (続)

(11 月 中)

<p>20日 ○財務省、10月の貿易統計(速報)を発表 輸出額は自動車、半導体等製造装置等が増加し、前年比+14.0%の6兆6,931億円、輸入額は原油、石油製品等が増加し、同+18.9%の6兆4,077億円、貿易収支は2,854億円で5か月連続の黒字</p> <p>21日 ○米商務省、10月の中古住宅販売件数を発表 前月比+2.0%の季調済年率548万件</p> <p>22日 ○米商務省、10月の耐久財受注を発表 新規受注は前月比△1.2%、設備投資計画の先行指数とされるコア(航空機を除く)非国防資本財受注は前月比△0.5%</p> <p>27日 ○米商務省、10月の新築住宅販売件数を発表 前月比+6.2%の季調済年率68.5万件</p> <p>28日 ○政府、11月の月例経済報告を発表 景気の基調判断を「景気は、緩やかな回復基調が続いている」として前月から据置き</p> <p>○英政府統計局、2017年7-9月期のGDP(2次速報)を発表 実質GDP成長率は前期比+0.4%(年率+1.6%)で、1次速報と変わらず</p> <p>29日 ○経済産業省、10月の商業動態統計を発表 小売業販売額は前年比△0.2%で12か月ぶりの減少、季調済前月比は+0.0%で前月から横ばい 基調判断は「持ち直しの動きがみられる小売業販売」として据置き</p> <p>○米商務省、2017年7-9月期のGDP(2次速報)を発表 実質GDP成長率は前期比年率+3.3%と1次速報(+3.0%)から上昇</p>	<p>30日 ○経済産業省、10月の鉱工業指数(速報)を発表 生産は季調済前月比+0.5%、出荷は同△0.5%、在庫は同+3.1% 基調判断は「生産は持ち直しの動きがみられる」として前月から据置き</p> <p>○国土交通省、10月の建築着工統計を発表 住宅着工総戸数(原数値)は、83,057戸(前年比△4.8%)と4か月連続の減少、季調済年率は93.3万戸(前月比△2.0%)</p> <p>○中国国家统计局、11月の製造業PMI(購買部担当者指数)を発表 総合指数は51.8ポイントと前月(51.6ポイント)から0.2ポイント上昇、16か月連続で製造業活動の拡大・縮小の分岐点である50ポイントを上回った</p> <p>東証株価指数(TOPIX)第1部(終値)</p> <p>月間最高値 1,817.60(8日)     〃 最安値 1,744.01(15日)</p> <p>日経平均株価(終値)</p> <p>月間最高値 22,937.60円(7日)     〃 最安値 22,028.32円(15日)</p> <p>東京外為市場(円相場、銀行間直物、対1ドル)</p> <p>月間最高値 111.31円(28日)     〃 最安値 114.32円(6日)</p>
--	---